

# 仕様書

「光干渉断層計」

2024 年度  
済生会松山病院

光干渉断層計は、以下の要件を満たすこと

- 1) OCT 画像と SLO 画像の両方を取得する機能を有する。
- 2) SLO で眼底観察を行いながら OCT 画像を撮影したい部位を選択する機能を有する。
- 3) スキャンスピードは 85,000/250,000A-Scan/sec で選択できる。
- 4) 最大スキャン幅水平 16.5mm で撮影が可能であること。
- 5) SLO の眼底観察範囲は最大画角 53.5×53.5 度の範囲で可能である。
- 6) 網膜厚み解析は最大 15×12mm の範囲で撮影、解析が可能。確率マップは 9×9mm 範囲の正常眼データベースと比較した結果が表示できること。またオプションにて長眼軸長正常眼データベースとも比較した解析結果が表示できること。
- 7) 同一眼において 2 つ以上の異なった網膜層厚み解析結果を同時に両眼表示可能である。
- 8) 前眼部の 3D アライメントと眼底フォーカスの自動調整機能を有する。
- 9) スキャンパターンには黄斑部モードと視神経乳頭モードを有する。
- 10) 複数の撮影パターンをコンボ（プログラム）として登録、運用が可能である。
- 11) 脈絡膜撮影機能があり撮影種別の表示が可能である。
- 12) 画像の加算平均機能を有し、加算平均枚数が最大 120 枚まで設定可能である。
- 13) 日本語表示が出来る。
- 14) 患者のデータベース機能を装備し撮影データ取り込みおよび閲覧が可能である。
- 15) データのエクスポート機能を装備する。
- 16) オプション追加にて前眼部観察用アダプタを装着することで前眼部 OCT の撮影が行えること。
- 17) オプション追加にて光干渉断層血管撮影（OCT-Angiography）がおこなえること。
- 18) オプション追加にて眼軸補正機能値の取得が可能となる。
- 19) オプション追加にて B スキャンのノイズ除去表示が可能となる。
- 20) 測定部本体

OCT 機能	OCT 撮影時のスキャンレート	250,000A-Scan/秒
	光源波長	880nm
	測定方式	スペクトル分光 OCT
	スキャン幅	6.0/9.0/12.0/15.0mm（水平 16.5 mm）
	スキャン深度	4.2mm
	解像力	深さ方向 7 μ m 縦横方向 20 μ m

	測定モード	網膜マップ (15x12 mm/X-Y) 黄斑ライン (回転: 1° ステップ) 黄斑マルチ (6/9/12/15 mm: 5×5 本) 黄斑マップ (9x9 mm/Y-X) 黄斑ラジアル (6/9/12/15 mm 12 方向) 乳頭マップ (6x6 mm/Y-X) 乳頭ラジアル (6/9/12 mm/12 方向)
S L O 機 能	光源波長	785nm
	測定方式	共焦点レーザー走査方式
	眼底イメージ範囲	53° (X) × 53° (Y)
	解像力	中心 30 μm (XY 方向)
	表示解像度	1280pixel x 1280pixel
共 通	所要瞳孔径	Φ2.5mm (推奨 Φ3.0mm以上)
	視度補正範囲	-20D~+20D
	作動距離	24.9mm (眼底) / 20.0mm (前眼部OCT)
	固視灯色	内部 (緑色) / 外部 (赤色)
	寸法 / 重量	332(W) × 526(D) × 586(H)mm / 30.6kg
	電源	AC100V-240V 50/60Hz 1000VA 以下

#### 専用PCラック

寸法	620(W) × 460(D) × 700(H)mm
重量	29Kg

#### 電動光学台 (OT-600BF)

寸法	639(W) × 472(D) × 600~850(H)mm
重量	28Kg
電源	AC100V±10% 50/60Hz

#### オプション

前眼部OCTアダプタ	前眼部OCT撮影用レンズ、ケース
長眼軸長正常眼データベースソフト	専用ソフトウェア、ライセンス USB
OCT-Angio ドングル	専用ソフトウェア、ライセンス USB
スキャン補正パラメータ	専用ソフトウェア、ライセンス USB
B スキャンデノイジングソフトウェア	専用ソフトウェア、ライセンス USB